

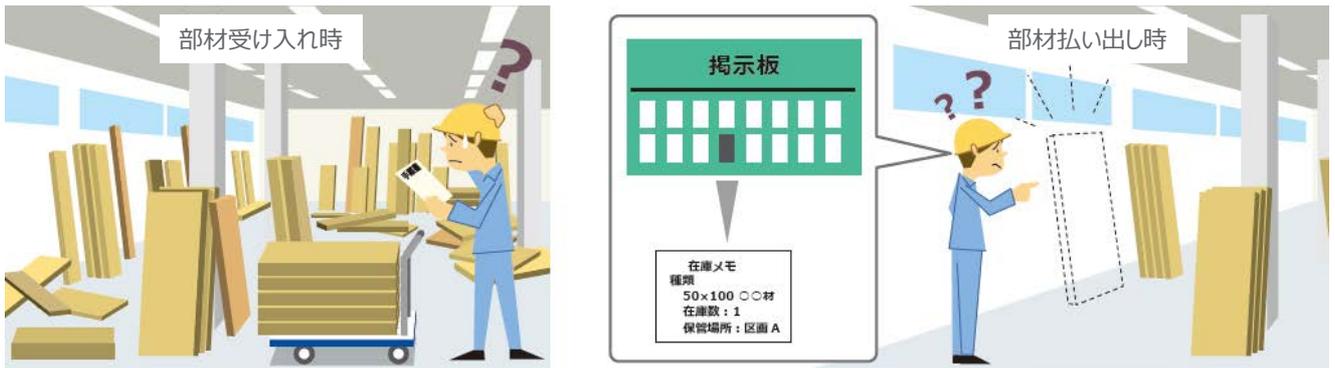
ベテランに頼っていたピッキング作業を 誰でもできるようにしたい！ しかし、大型部材の保管方法に ベテランならではのノウハウがあり 簡単に作業を習得できない・・・



部品管理者さま

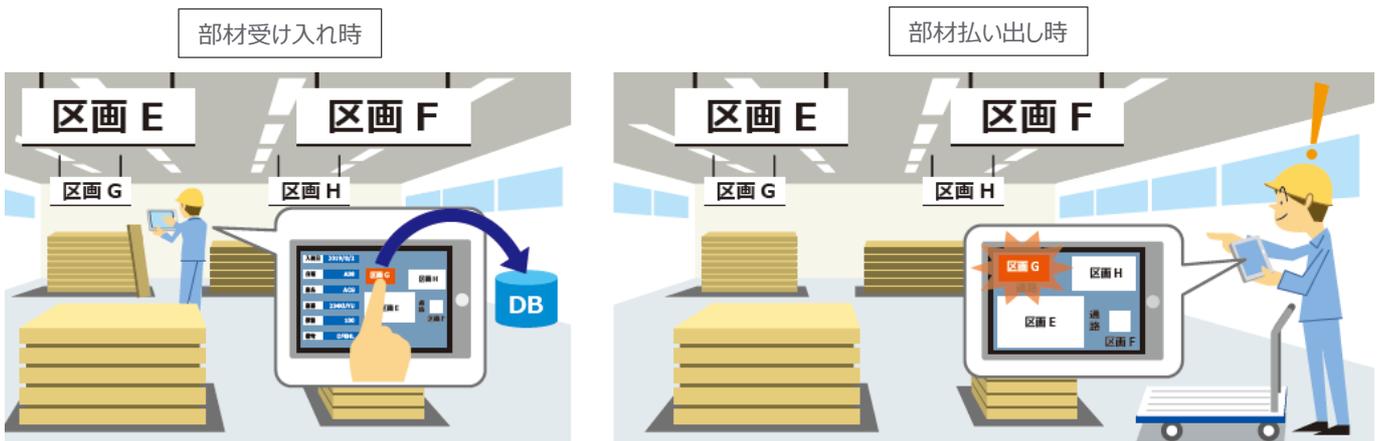
作業を手順化して従業員の教育を行いたい。しかし問題が、

- 【手書き記録】毎回、部材受け入れ時に保管場所を手書きメモに残すのが億劫で、メモを残さなくなる
- 【手順書作成】部材の種類が多く手順書のページ数が膨大になり、該当箇所を探すのが大変で読まなくなる
- 【デジタル化】紙の記録を行わず、随所にセンサーを設置すると大掛かりな改造になる



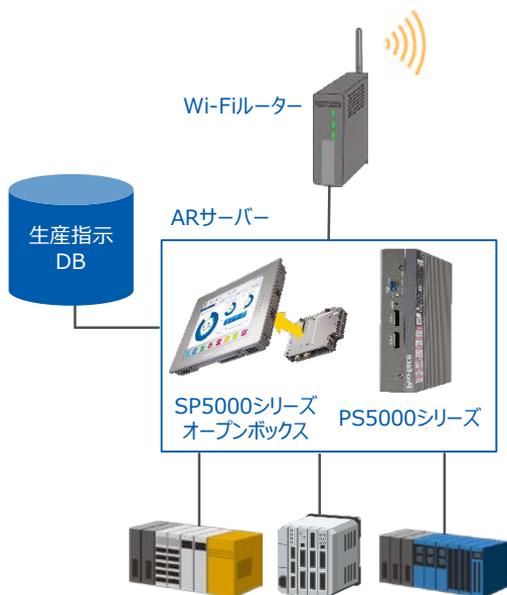
AR+タブレット操作でピッキング作業をナビゲーション！ 誰でも簡単・スムーズに作業ができる

- 【自動記録】現品票のQRコードをタブレットで読み込み、道順や保管場所（倉庫区画）をDBへ記録！
- 【手順書をAR化】部材の保管場所や道順は、ARを使ってナビゲーション！



作業効率のアップはもちろん、部材も残さず利用してコストダウンに

システム構成図



生産指示だけでなく、現場の様々な制御機器とも通信できるので、“かざせば見える”情報の拡張性は無限！



部材受け入れ時

- ① 現品票QRをタブレット端末のカメラで読み込み
- ② 表示するマップから、部材の保管場所（倉庫区画）をタッチ
- ③ 部材情報と保管場所情報が紐付き、DBに保存

部材払い出し時

- ① タブレットをかざすことで、払い出し部材の保管場所を表示
- ② 保管場所が見渡せない広い倉庫では、棚に貼り付いている倉庫マップにタブレットをかざすことで、部材を保管している場所のマップを表示
- ③ 保管場所への道順がわからない時には、タブレットをかざすと道順をナビゲーション

シュナイダーARアドバイザーとは、

作業者はタブレットを対象にかざすことで、必要な情報を迅速、かつわかりやすく取得。作業手順/点検手順をARでナビゲーションすることで、技術伝承のサポートやポカよけに効果的。

◆ 部品をピッキングする際の注意事項をサポート

プロセス機能により、オペレーターに正しい作業手順で伝えることが可能。

◆ 外部アプリケーションとの連携

ARから任意のアプリケーションを起動して、ピッキングの“探す”“調べる”“確認する”にかかる時間を短縮。

AR画面例



シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社
(旧：株式会社デジタル)
www.proface.co.jp

東京 東京都港区芝浦2-15-6 オア-ゼ芝浦MJビル
TEL : 03-5931-7651 FAX : 03-3451-3580

中部 愛知県名古屋市中区泉1-21-27 泉ファーストスクエア7F
TEL : 052-961-3701 FAX : 052-961-3707

西日本 大阪市中央区北浜4-4-9
シュナイダーエレクトリック大阪ビルディング
TEL : 06-6208-3119 FAX : 06-6208-3132